



JPS 2020 Autumn Meeting

日本物理学会2020年秋季大会 [領域5インフォーマルミーティング]

✓ 質疑応答のルール

基本はZoomのチャット機能で質問を受けつけ、座長が選択します。

✓ 講演者および質問者は、名前と所属を紹介してから発言してください。 Zoomの表示名もあらかじめ氏名と所属がわかるように設定してください。 [例：物理太郎（物理大）]

✓ 禁止行為

- ・ 写真・動画撮影・音声録音・スクリーンショット
- ・ 発表終了時にミュート解除して拍手を送ること

領域5インフォーマルミーティング

2020年9月9日 18:00～ オンライン

領域運営委員からのお願い

Zoomチャット欄に、IM参加者名簿のエクセルシートのURL
リンクを掲載しています。

シートへの記入に、ご協力をお願い致します。

(上書きされないよう、ご注意ください)

日本物理学会 2020年秋季大会

領域5インフォーマルミーティング

内 容

1. 領域5 領域代表、副代表、運営委員
 2. プログラム編成について
 3. 申込み件数の推移
 4. 招待講演・シンポジウム・企画講演
 5. 領域ホームページ・メーリングリスト
 6. 報告事項
 7. 審議事項
- 学生優秀賞のオンライン審査
学会のオンライン運営方法
8. 国際会議・研究会の案内

1. 領域5 領域代表・副代表・運営委員

領域代表	2020年4月～2021年3月	木村 昭夫（広島大）
領域副代表	2020年4月～2021年3月	秋山 英文（東大）
領域運営委員	2019年10月～2020年9月	大間知 潤子（関西学院大） 川上 洋平（東北大） 藤原 秀紀（阪大）
	2020年4月～2021年3月	岩澤 秀明（QST） 岡野 真人（慶応大） 谷 峻太郎（東大）
	2020年10月～2021年9月	安齋 太陽（大阪府大） 神田 夏輝（東大） 宮本 辰也（東大）

1. 領域5 運営委員候補の推薦

任期: 2021年4月～2022年3月

領域代表: 秋山 英文 (東大)

領域副代表: 木村 真一 (阪大)

運営委員:

鈴木 剛 (東大)

西原 大志 (京大)

宮脇 淳 (QST)

(本人内諾済)

ご相談： 運営委員業務の分担について

真空紫外放射光のインフォーマルミーティング(IM)の担当

現在は、10月スタートの運営委員が、春の年次大会、秋季大会の両方を担当

(理由:これまで真空紫外放射光領域からは、10月スタートの運営委員を担当してきたため)

昨今では10月スタート、4月スタート共に真空紫外放射光の分野から運営委員が出ていて、今後もしばらくこの流れが続киそうです。



変更案

3月の年次大会:10月スタートの運営委員さんが担当(前担当が補佐)

9月の秋季大会:4月スタートの運営委員さんが担当(前担当が補佐)

2. プログラム編成に関して運営委員からのお願い

キーワードは必ず2つ書いてください。

キーワード記載が1つのみの申込みは、**156件中26件**ありました。

- 基本的に1つめのキーワードにより編成は行われるが、会場の事情次第では2つめのキーワードも考慮
- 英語講演についても日本語講演と同様キーワードを基に編成
- 指導されている学生や外国人の方のチェックもお願いします。

2. プログラム編成に関して運営委員からのお願い

座長候補者へのお願い

- 時間的余裕がありませんので、辞退される場合は座長依頼に対する迅速な返信をお願いします。

講演題目に「」、”等は不要です。

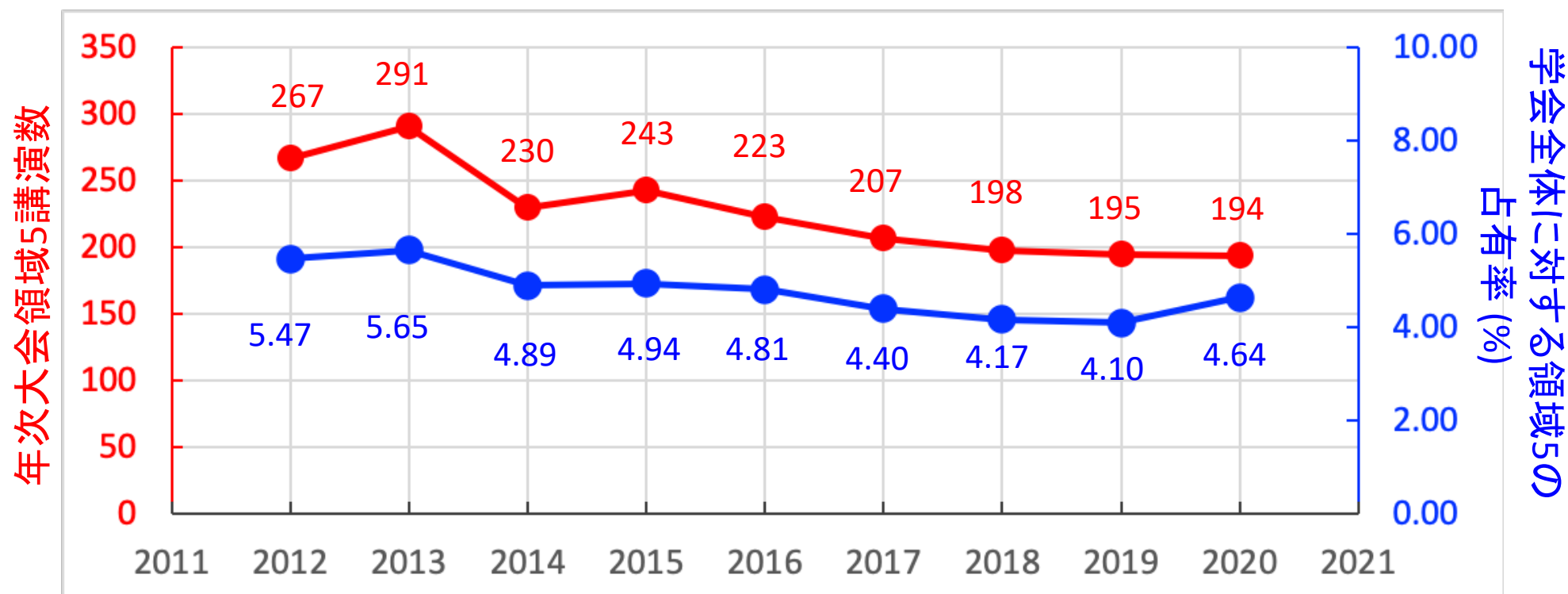
- 入力後に、必ず確認をお願いします。

登壇日時の希望は、原則受け付けておりません。

- プログラム編成上、登壇日時の個別調整は困難
- 登壇日時の希望は、真にやむを得ない場合のみということをお願いいたします。

学生優秀賞の応募資格は学生のポスター発表者のみです。

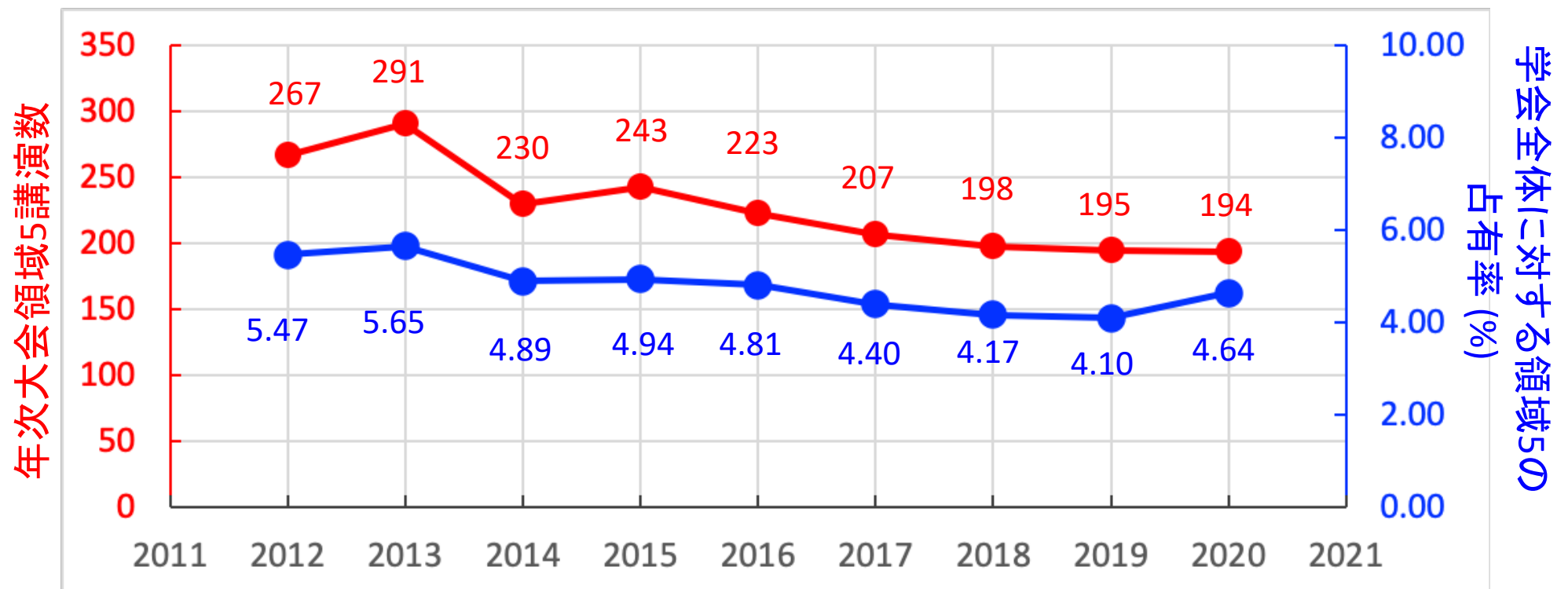
3. 年次大会(春)の講演数 ⇒ 若手奨励賞上限数



第15回若手奨励賞受賞者数上限算定表

領域	第73回 年次大会		第74回 年次大会		第75回 年次大会		占有率 平均(%)	受賞者数 上限
	講演 件数	占有率 (%)	講演 件数	占有率 (%)	講演 件数	占有率 (%)		
領域5	198	4.17	195	4.10	194	4.64	4.31	2

3. 年次大会(春)の講演数 ⇒ 若手奨励賞上限数

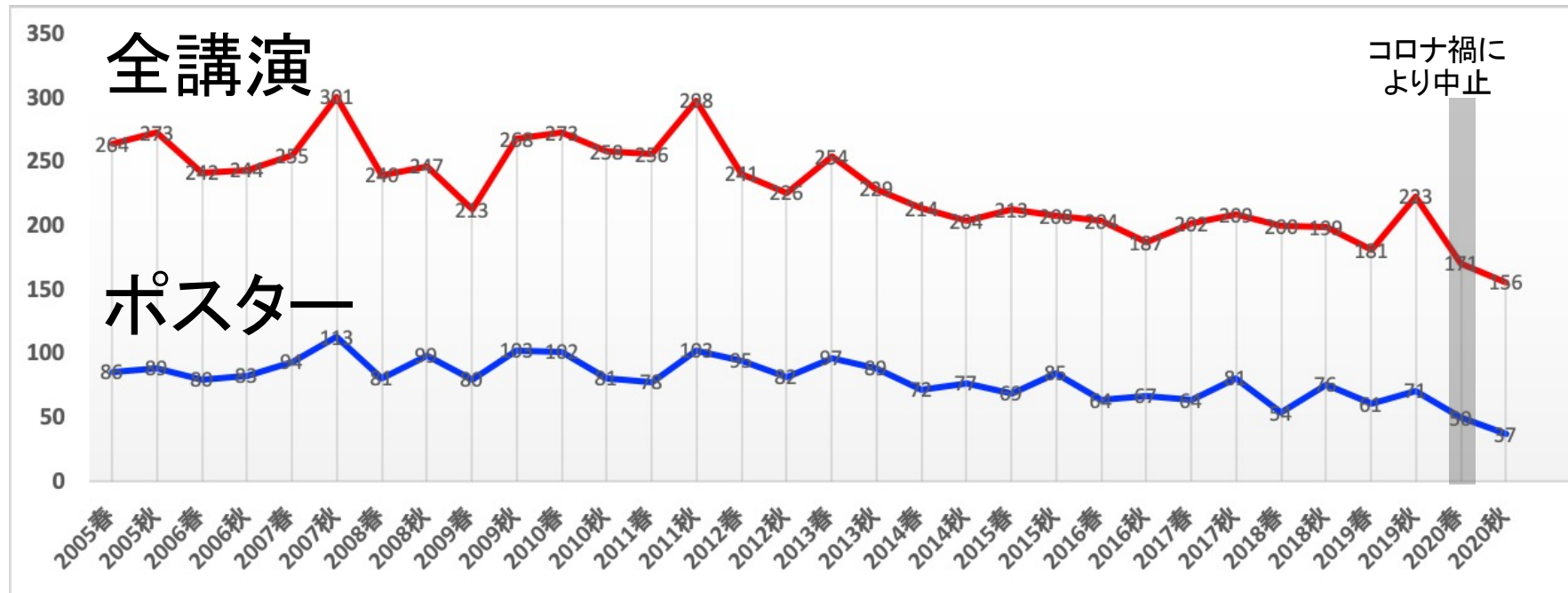


若手奨励賞の受賞者数上限は、年次大会の講演数で決まります

領域5として若手を「3名」表彰するためには
占有率4.84%に達する必要があります

皆様の積極的な講演・発表をお願いいたします

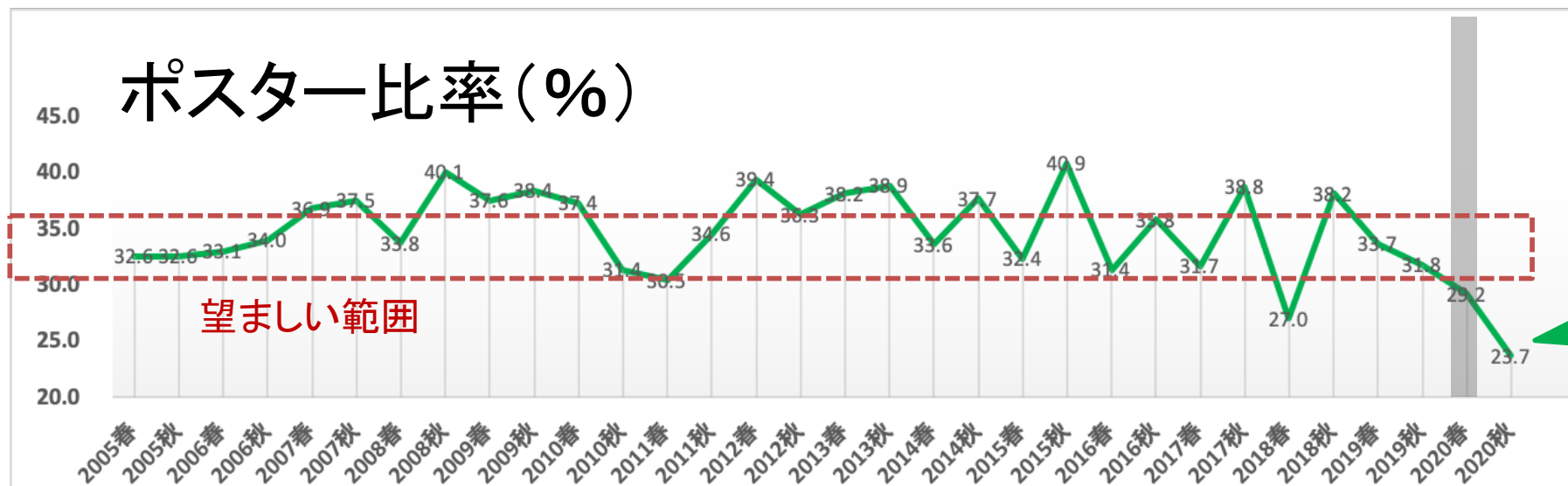
3. 領域5申込件数の推移



今回

156

37



24%

最低値

4. 招待講演・シンポジウム・企画講演

企画講演

日本物理学会若手奨励賞受賞記念講演(済) 9/9 9pE1 15:20~16:30 (E1会場)
木村昭夫(広島大学) 「選考報告と授賞式」

西原大志(京都大学)
「ナノカーボン物質の励起子光物性研究」

"Strength of carbon nanotubes depends on their chemical structures," A. Takakura[†], K. Beppu[†], T. Nishihara[†] *et al.*, Nat. Commun. 10, 3040 (2019) ([†]: Equal contribution).

"Ultra-narrow-band near-infrared thermal exciton radiation in intrinsic one-dimensional semiconductors," T. Nishihara *et al.*, Nat. Commun. 9, 3144 (2018).

"Dynamics of exciton-hole recombination in hole-doped single-walled carbon nanotubes," T. Nishihara, *et al.*, Phys. Rev. B86, 075449(2012).

佐藤駿丞(筑波大学)
「固体におけるアト秒電子ダイナミクス of 理論的研究」

"Attosecond dynamical Franz-Keldysh effect in polycrystalline diamond," M. Lucchini, S. A. Sato *et al.*, Science 916 (2016).

"Attosecond optical-field-enhanced carrier injection into the GaAs conduction band," F. Schlaepfer, M. Lucchini, S. A. Sato *et al.*, Nat. Phys. 146, 560 (2018).

"Role of intraband transitions in photocarrier generation," S. A. Sato *et al.*, Phys. Rev. B98, 035202 (2018).

4. 招待講演・シンポジウム・企画講演

合同一般シンポジウム(他領域提案)

(済)「界面におけるエネルギー変換と輸送」

(領域9, 領域5, 領域10, 領域11)

9/8 8pJ1 13:30～16:50 (J1会場)

「グラフェン物性科学の新展開」

(領域7, 領域4, 領域5, 領域9, 領域10)

9/10 10pG1 13:30～16:50 (G1会場)

4. 招待講演・シンポジウム・企画講演の提案

第76回(2021年)年次大会の領域5事前締切: 10/29(木)

Web受付: 10/13(火)～11/12(木)

(2003年設置の領域5選考委員会により選考を行っています。)

I. シンポジウム提案方法

- (1) 提案者は原案を**メーリングリストで公開**し、議論を行う。
ただし、この段階では講演予定者の氏名は公開しない。
- (2) 選考委員会による決定後、提案者はweb上での登録を行う。

II. 招待講演・企画講演提案方法

- (1) 推薦者は原案(正式なものでなくともよい)を領域代表もしくは領域運営委員にメールで送る。この時点で**メーリングリストでの公開、被推薦者の了承は不要**
- (2) 選考委員会による決定後、推薦者は被推薦者の了解を得た上で**締切前にweb上での登録を行う**。

シンポジウム 今大会 0件
積極的にご活用ください。

4. 招待講演・シンポジウム・企画講演の提案

共催シンポジウムの実施について

日本物理学会と各種研究共同体(コンソーシアム)との共同で共催シンポジウムを開催できる(2018年年次大会より)。

- 複数コンソーシアムでの開催も可能。
- 日本物理学会はコンソーシアムから必要経費としての共催費(20万円)を申し受ける。
- 基本的な提案・実施プロセスは通常のシンポジウムと同様。
- 登壇者については通常のシンポジウムの制約を原則として課さない。但し、他シンポジウムとの重複登壇は特別な場合を除き許可しない。
- 開催できる共催シンポジウム数は原則1大会あたり5件まで。

領域5 VUV-SXシンポジウム

次回シンポジウムの御提案をよろしくお願いいたします。

2020年秋	提案なし
2020年春	COVID-19により中止。
2019年秋	次世代スピントロニクスに向けた軟X線放射光計測技術の発展(小林先生提案)
2019年春	提案なし
2018年秋	光で切り拓く新しいトポロジカル物性科学 (木須先生・近藤先生提案)
2018年春	シンクロtron光電子分光が拓く物性研究の新展開(伊藤先生提案)
2017年秋	放射光を用いた磁性研究の30年 ―磁気円二色性の新たな展開―(宮脇先生・雨宮先生提案)
2017年春	放射光を用いた顕微分光によるナノスケール電子状態観察の新展開(堀場先生提案)
2016年秋	遷移金属酸化物表面・界面の新しい電子状態とその分光手法による解明(組頭先生・和達先生提案)
2016年春	超高分解能非弾性散乱が加速する物質科学(辛先生提案)
2015年春	先端的時間分解光電子分光法の開発と光機能性界面のリアルタイム観測(松田先生提案)
2014年春	強相関電子系におけるX線分光理論の最近の発展(高橋先生提案)
2013年春	新しい元素選択スペクトロスコーピーによる局所電子状態・構造観察(藤原先生提案)
2012年秋	超高速分光・散乱と非平衡統計力学・情報統計力学のクロスオーバー(溝川先生提案)
2012年春	偏光特性を最大限に活用した放射光分光の新展開(関山先生・中島先生提案)
2011年秋	軟X線散乱による秩序状態と電子構造研究の進展(齋藤先生提案)
2011年春	震災により中止。
2010年秋	硬X線を利用したスペクトロスコーピーによる電子状態研究の進展と展望(櫻井先生提案)

領域5主催特別講演（企画講演・招待講演）

2019年春	Kyhm Kwangseuk (Pusan National University)	Optical Aharonov-Bohm oscillators in a single quantum ring: Disorder effects and biexciton Wigner molecule（領域5, 領域4合同招待講演）
2018年秋	佐藤宇史 (東北大院理)	トポロジカル絶縁体・半金属の電子構造(領域4, 領域8, 領域9合同招待講演)
	Shailendra K. Varshney (Indian Institute of Technology, Kharagpur (IIT Kharagpur))	Nonlinear dynamics in multimode optical fibers (領域5, 領域1合同招待講演)
2017年秋	今田裕 (理研)	光と走査トンネル顕微鏡を組み合わせる単一分子エネルギー変換/移動ダイナミクス(領域5, 領域9合同招待講演)
2017年春	金光義彦 (京大化研)	ハロゲン化金属ペロブスカイトの光物理 (領域5招待講演)
2016年春	末元徹 (東大物性研)	光による物質制御とそのダイナミクス (領域5招待講演)
2015年秋	関山明 (阪大基礎工)	偏光依存角度分解内殻光電子分光による強相関電子系基底状態の決定 (領域5, 3, 8合同招待講演)
2015年春	秋山英文 (東大物性研)	太陽電池の詳細平衡理論と応用 (チュートリアル)
2014年春	Fedrov Andrey（モスクワ国際レーザーセンター）	Fiber-based platform for functional studies in neuro-photonics (領域5, 領域12合同招待講演)
	南不二雄 (東工大院理工)	半導体における励起子分極のコヒーレント過渡現象 (領域5招待講演)
2013年春	舛本泰章 (筑波大数理物質系)	量子ドットのスピン緩和 (領域5招待講演)
2012年秋	小鍋哲氏 (筑波大数理)	カーボンナノチューブにおける励起子多体相関 (領域7, 領域4, 領域5合同招待講演)
2012年春	上江洲由晃氏 (早大理工)	SHGを利用した分域構造解析 (領域10, 領域5合同招待講演)
	吉松公平氏 (東大院工)	酸化物質量子井戸構造における強相関電子の量子化状態 (領域5, 領域8, 領域9合同招待講演)

5. 領域ホームページ・メーリングリスト

メーリングリストへ登録を

- ion-hikariでは登録アドレス以外からのメール投稿ができません。
異動等によりアドレスが変わった方は、
旧アドレスの削除および新アドレスの登録をお願いいたします。

MLのアドレス ion-hikari@r5.div.jps.or.jp

旧メーリングリスト(ドメイン名 : laser.mp.es.osaka-u.ac.jp)は2018年3月末で廃止。
(投稿した場合には、宛先不明のエラーが返ってきます.)

5. 領域ホームページ・メーリングリスト

ホームページのリニューアル

<http://www.r5.div.jps.or.jp/>

- シンポジウム・招待講演などの提案をより活発に行っていただくため、領域5ページに各種情報を掲載しています。
- 国際会議情報・リンク希望を募集しています。
- 登録・退会方法、その他詳細を掲載しています。

領域ホームページリニューアルのご案内

東北大 川上先生(領域運営員)のご尽力により、リニューアルされました！

日本物理学会 領域5

メーリングリスト お問い合わせ 旧 領域5ウェブ 運営委員専用

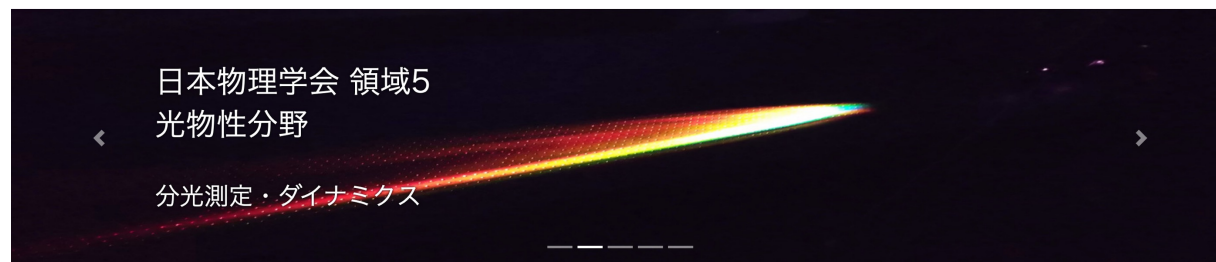
川上先生、ご自身で撮影

トップページに飾る
真空紫外放射光の
写真／画像を募集しております。

運営委員宛にご連絡ください。

是非ご活用ください！！

運営委員専用ページも
整備されています！



検索

フィードURLはこちら

MENU

お知らせ

応募・申込み・手続き

領域代表・運営委員

シンポ・招待・企画講演

若手奨励賞

学生優秀発表賞

講演キーワード

IM議事録

国際会議・研究会

セミナー・ワークショップ

公募情報

最近の投稿

領域5ウェブサイトのリニューアルのお知らせ

第15回(2021年)若手奨励賞の募集

2020年秋季大会 シンポジウム・招待講演・企画講演の募集

2020年9月1日

お知らせ

領域5ウェブサイトのリニューアルのお知らせ

領域5ウェブサイトをリニューアルしました。
会員の皆様と委員の情報交換の場として利用しやすくなりました。
(※試験運用中です)

2020年7月23日

若手奨励賞

第15回(2021年)若手奨励賞の募集

第15回(2021年)若手奨励賞を募集しています。
提出先と提出期限はこちらをご確認ください。

2020年7月23日

シンポ・招待・企画講演

2020年秋季大会 シンポジウム・招待講演・企画講演の募集

領域内締め切りは令和2年4月23日(木)です。
皆様の積極的な提案と活発な議論をお願いいたします。

2020年7月2日

領域代表・運営委員

領域代表・運営委員 2020年10月～

領域代表 木村 昭夫
領域副代表 秋山 英文
運営委員 岩澤 英明/岡野 真人/谷 峻太郎/安齋 太陽/神田 夏輝/宮本 辰也

2020年7月2日

セミナー・ワークショップ

オンライン物性理論セミナー

オンライン物性理論セミナーは、本年の4月末より週に1回程度のペースでZoomを用いて開催している(理論・実験問わず)物性物理関連のセミナーです。

2020年7月2日

講演キーワード

6. 報告事項 概要集の提出率について

領域	講演者数	論文提出数	論文提出率
領域1	143	138	96.5%
領域2	125	123	98.4%
領域3	214	206	96.2%
領域4	172	165	95.9%
領域5	159	157	98.7%
領域6	116	109	93.9%
領域7	77	74	96.1%
領域8	351	338	96.2%
領域9	102	100	98.0%
領域10	72	70	97.2%
領域11	349	316	90.5%
領域12	123	114	92.6%
領域13	81	78	96.2%
素粒子論領域	204	95	46.5%
素粒子実験領域	223	56	25.1%
理論核物理領域	114	93	81.5%
実験核物理領域	152	107	70.3%
宇宙線・宇宙物理領域	235	114	48.5%
合計	3012	2453	81.4%

提出率1位

物性合計	2084	1988	95.4%
素核宇合計	928	465	50.1%

7. 審議事項

1. 学生優秀賞のオンライン審査
2. 学生優秀賞の対象
3. 学会のオンライン運営方法

今後もオンライン学会が続く可能性があります。
今回の学会運営について、皆さんからの意見をお聞かせください。

7. 審議事項 学生優秀発表賞について

日本物理学会 学生優秀発表賞授賞について領域5の規定(抜粋)

応募資格

大学・大学院もしくは同等の機関に在学中の**学生**で、日本物理学会**秋季大会**・領域5において**第一著者としてポスター発表を行う者**

表彰件数

全ポスターの5% 程度(3-5件)、
学生優秀賞の応募者の20%程度(2018年秋IMで審議)

審査対象

発表内容, ポスターの見栄え, プレゼンテーション(英語可)

応募方法

- 200 文字の講演要旨入力欄の最初に(ポスター賞応募)と記入して下さい。
- 応募期間は秋の学会への講演申込受付期間と同じとする。
(注意！！応募のタイミングは、最初のWeb 登録のときです。
講演概要集原稿(A4 サイズ・1 枚)投稿時ではありません。)

7. 審議事項 学生優秀発表賞について

日本物理学会 学生優秀発表賞授賞について領域5の規定(抜粋)

応募資格

大学・大学院もしくは同等の機関に在学中の**学生**で、日本物理学会**秋季大会**・領域5において**第一著者としてポスター発表を行う者**

表彰件数

全ポスターの5% 程度(3-5件)、
学生優秀賞の応募者の20%程度(2018年秋IMで審議)

今回 表彰件数3件 (全ポスター37件、応募者 12件(27件※))
※括弧は誤って口頭発表で申し込んだ者を含む

応募方法

- 200 文字の講演要旨入力欄の最初に(ポスター賞応募)と記入して下さい。
- 応募期間は秋の学会への講演申込受付期間と同じとする。
(注意！！応募のタイミングは、最初のWeb 登録のときです。
講演概要集原稿(A4 サイズ・1 枚)投稿時ではありません。)

7. 審議事項2: 学生優秀賞の対象について

応募資格

大学・大学院もしくは同等の機関に在学中の学生で、日本物理学会秋季大会・領域5において第一著者としてポスター発表を行う者

- ポスター発表で応募: 12人
- 口頭発表で応募: 15人

口頭発表が半数を超えてしまった

- 問題点
- 領域により対象が異なるので分かりにくい
 - 申し込みの時点では口頭発表でも応募できてしまう
 - 領域ウェブサイトやメーリングリストの案内だけでは、学生に周知できていない

7. 審議事項2: 学生優秀賞の対象について

口頭発表を対象とする学生賞も設けるべきか？

領域5の学生優秀賞の対象がポスター発表である経緯

- 2015年の国連国際光年を記念し、「領域5国際光年記念ポスター賞」が作られた(2015春IMで審議)。
- 2015春IMでは「ポスター賞の運営がスムーズに運営されたら、口頭発表への発展を検討」
- 2016年以降、秋季大会でのポスター賞として継続。
- 2018年秋から「日本物理学会学生優秀発表賞」の受賞が開始され、領域5ではこれまでのポスター賞を踏襲(2018春IMで審議)。

7. 審議事項1: 学生優秀賞のオンライン審査

従来の審査方式

審査員は対面でポスター発表を聴講し、審査を行う

オンライン化にともない下記方式に変更(領域5の対応)

今回の審査方式

従来方法を踏襲し、審査員はできるだけZoom上で発表者と対面でポスター発表を聴講し、審査を行う

- ✓ 審査時間(9/10 13:30-16:00)を設定し、その時間で対面審査を行う
- ✓ Zoomの設定は応募者側で行う
- ✓ 対面審査が難しい場合には、各審査員の裁量で審査を行う

7. 審議事項3:学会のオンライン運営方法

- ポスターセッション

– 9月8日から9月13日まで掲載 PDF閲覧+コメント機能

表示確認用サンプル PDF

Comment
Name 佐藤 太郎(東京大学)
Please enter message here.
SEND

新着コメントがここに表示されます。

ポスター資料

コメント入力ボックス

- 投稿コメントが時系列で表示される(公開)
- 発表者、質問者共に氏名が表示される(匿名機能なし)

7. 審議事項3:学会のオンライン運営方法

- ポスターセッション

- 9月8日から9月13日まで掲載 PDF閲覧+コメント機能

- 議論活性化のための領域5の対応

- 9/10 午後(13:30-17:30)を推奨時間

- Zoomによる議論をオプションとして推奨

- ミーティングURLをポスター発表のコメント欄に発表者が記載

ポスターセッションの運営について、意見を募集します

7. 審議事項3:学会のオンライン運営方法

- 口頭発表
 - Zoomで発表 & 質疑応答
 - 座長(&運営委員が1名以上共同ホスト)

本日までの発表を踏まえ、意見を募集します

7. 審議事項3:学会のオンライン運営方法

告知

領域5では、アンケートを準備中です。

リニューアルされHPからアクセスできる予定
完成次第ご連絡を致します。

今後もオンライン学会が続く
可能性があります。
今回の学会運営について、
皆さまのご意見をお聞かせくだ
さい。

(領域5) 日本物理学会2020年秋季大会の
オンライン運営に関するアンケート

* 必須

1. 本学会の参加形式について教えてください。(口頭発表は、招待講演、企画公演、シンポジウムの登壇者を含む。複数回答可) *

- ☐ 登壇者(口頭発表)
- ☐ 登壇者(ポスター発表)
- ☐ 聴講者(発表なし)

2. 学生かどうか教えてください。 *

- ☐ 学生
- ☐ 学生ではない

3. 今回のオンライン口頭発表について満足度を教えてください。 *

- ☐ 満足している
- ☐ 普通である
- ☐ 満足していない

4. オンライン口頭発表について、改善が必要な項目をご選択ください(複数回答可)。

- ☐ 講演へのアクセス方法
- ☐ 発表の方法
- ☐ 質疑応答の方法
- ☐ その他

5. オンライン口頭発表の改善点について具体的にご記入ください。

回答を入力してください

8. 国際会議・研究会の案内

オンライン物性理論セミナー

開催日：本年4月より週に1回程度のペース

開催： Zoom

公式サイト： https://shinaoka.github.io/online_CMT_seminars/

毎回、公式ウェブサイトでの登録をお願い致します。

ZoomのミーティングURLおよびパスワードは、登録されたメールアドレスに送信されます。

今後の発表者の推薦・自薦を絶賛受付中です。

また、学生の方々の積極的な参加もお待ちしておりますので、学生の方々への御周知もよろしくお願い致します。

第76回年次大会(2021年)ご案内

会場: 東京大学 (駒場キャンパス)

期間: 2021年3月12日(金)～15日(月) (予定)

招待・企画講演・シンポジウム領域5内提案締切: 10月29日(木)

Web受付: 10月13日(火)～11月12日(木)

募集掲載: 10月号

一般講演受付期間(Web): 11月17日(火)～ 12月3日(木)14時

募集掲載: 11月号

講演申込・参加登録は会員マイページからのみ
「入会申込中」での申込はできません。十分ご注意ください。

概要原稿提出締切(Web): 2021年1月20日(水)14時

(郵送は2015春から原則廃止)

7. 学生優秀賞の表彰件数

- 今回の表彰件数 **3件** (全ポスター37件、応募者 12件(27件)[※])
※括弧は誤って口頭発表で申し込んだ者を含む

表彰件数の決め方

- 全ポスターの5%程度(3-5件)(領域ホームページとメーリングリスト)
- 学生優秀賞の応募者の20%程度(2018年秋IMで審議)

(参考)

年	ポスター	応募者	受賞者	受賞者／ポスター	受賞者／応募者
2015春		69			
2015秋	85	37	6	0.07	0.16
2016春	64				
2016秋	67	13	3	0.04	0.23
2017春	64				
2017秋	81	14	3	0.04	0.21
2018春	54				
2018秋	76	25	3	0.04	0.12
2019春	61				
2019秋	71	32	3	0.04	0.09
2020春	50				
2020秋	37	12 (27) [※]	3	0.08	0.25 (0.11)

日本物理学会 学生優秀発表賞 実施要綱

2017 年 12 月 9 日 理事会

(0) 目的：物理学会大会における若手の優秀な発表を奨励し、大会をより活性化するために本賞を設ける。

(1) 賞の名称・賞状：本賞の名称は日本物理学会学生優秀発表賞とする。
英語名称は、Student Presentation Award of the Physical Society of Japan とする。
賞状は会長名において授与する。

(2) 対象：物理学会正会員の内の大学院生または学生会員による当該大会の学会発表（口頭またはポスター）を授賞対象とする。

(3) 授賞者の決定：会長／理事会は、各領域代表に受賞候補の推薦を依頼する。各領域において、附則(1)および附則(2)により、定められた審査員が発表を審査し、その結果を受けて各領域代表は受賞候補を理事会に推薦する。推薦候補については、理事会において授賞を審議・承認する。

(4) 公表：承認後、日本物理学会 web ページにおいて、授賞者名、授賞講演タイトル等を公表する。

(5) 時期：2018 年秋季大会より授賞を始める。

(6) 取消：受賞者が本会の名誉を傷つける行為を行った場合、理事会は賞を取り消すことができる。

日本物理学会 学生優秀発表賞 実施要綱

2017 年 12 月 9 日 理事会

附則(1) 授賞人数等：授賞人数は，本賞の趣旨を逸脱しない範囲で各領域で場合に依りて決め，領域によっては推薦者なしでも良い．

附則(2) 授賞規定・審査員：各領域代表は，受賞者決定のための，審査員選用法を含む規則を設け，これを理事会に通知し承認を受ける（初回，および変更がある場合）．各領域代表は，審査終了後，審査員名簿を受賞候補名簿と共に理事会に提出し，承認を受ける．審査員名簿の理事会承認を受賞候補承認の必要条件とする．

附則(3) 仮賞状の発行：各領域において，推薦が決まった段階で，理事会の承認を待たずに仮賞状を発行することができる．

附則(4) 受賞回数：複数受賞は妨げない．ただし，各領域の独自規則により当該領域における受賞についてこれを禁止することはできる．